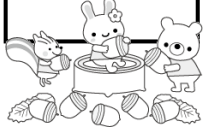


来年3月上旬  
開催予定!!

# (仮称)ひこねば・市民活動まつり～災害編～

# ヒコねば通信

ひこねのしゃべり場・たまり場 情報誌



2012年  
長月(9月)号  
2,000部発行



近くで災害が起きたら、  
すぐにでも駆けつけたい!

また、近くで大きな災害が  
あつたら「いち早く駆けつけ  
る」ことが、私たちにできるこ  
とではないでしょうか。  
市民活動センターでは、来  
年3月に開催予定の「(仮称)  
ひこねば・市民活動まつり」  
で、そんな思いをカタチにし  
ていきたいと考えています!

思いをカタチにしたい  
すべての人

## 集まれ! 彦根「魂」

高齢者も若者も  
女性も男性も  
大人も子どもも

### 大募集!

そんな思いをもつ個人・団体のみならず

一人ひとり小さな思いでも、みんなで集まれば大きなチカラになります! ぜひ、ご協力ください!!

→ くわしくは、ひこね市民活動センターまで

昨年3月の東日本大震災をはじめ、  
ここ最近、日本各地で大きな災害が  
続けて起きています。  
幸いにも、滋賀県は地震や台風によ  
る被害を受けにくいと言われますが、  
それでも大雨による水害など、「もしも」  
のときに備えておくことは、「いま」で  
きることです。



もしものとき、  
わたしにも何かできる?

### (不安だと思ふこと)

- ・気になる一人暮らし、高齢者。しかし非常時は自分も含めみんなが大変。災害時対応に限度がある。
- ・自分自身も高齢。独居老人や高齢者の避難誘導等が実際にできるか不安。
- ・老いて体の自由が利かなくなること。

- ・地域の組織(自治会や防災組織)が「いざという時」きちんと機能するのか。
- ・災害時に少ない人数で地域を回れるか。
- ・防災の長が当て職になっている。
- ・日常の中で隣人とのつながりが大切と言いながら、個人情報のことなどで深くつながるのが難しい。
- ・自治会に加入しているが、アパート住まいのせい、地域との関わりが全くない。
- ・勤めに出ているので、十分なことができない。

- ・町内に災害時放送スピーカーがあるのか。
- ・災害発生時の集合場所、避難所がどこか分からない。
- ・要支援者の方の昼間の避難のあり方。
- ・夜間の災害時に避難する時が不安。
- ・専門的知識の欠如。情報の不足。災害時の家族の安否。
- ・家屋の倒壊時の下敷きになった方の救助方法。
- ・自宅が古く心配。
- ・ライフライン、医療、メガネや下着など日常的な物の確保。
- ・原発(地震時)は大丈夫か。彦根市にどの程度の影響があるか。
- ・芹川や犬上川、宇曾川の水害。竜巻の発生被害。

- ・滋賀県人は大きな災害に遭っていないので、安心している。
- ・防災に無関心である。若者が少ない。

7月22日に開催された「ひこね防災フォーラム2012」参加者の皆さんに、「災害時に「不安だと思ふこと」や「自分にできそうなこと」についてアンケートした結果をお知らせします!

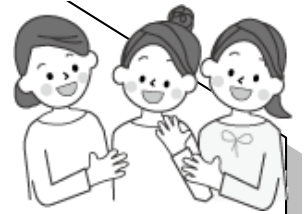
### (自分にできそうなこと)

- ・身近なことからやりたい。隣近所の安否確認、避難所への誘導、通報、初期消火など。
- ・日頃からの顔出し、訪問、声かけ、あいさつ。
- ・避難所でのご飯炊き、オムツ交換、要援護者の介助。
- ・元気であればボランティアや近所のお手伝い。
- ・小地域での防災活動。「地域の人を守る」「地域の人をつなぐ」観点で動きたい。
- ・自治会との連携による災害時、一人も見逃さない体制への協力。
- ・要支援者の方の昼間の避難のあり方という課題にチャレンジ!
- ・情報を集約し、自治会内や市外へ発信。
- ・自由対策として、土嚢などの準備が必要。
- ・地域全般の関わりは難しいが、身近な人たちだけでも関わりを持ち、助け合う仲間になる。
- ・できる限り会議等に参加し、災害が起きた時にどう行動するか話すこと。
- ・自主防災会での仕事の役割分担。
- ・役員以外にも一人ひとりがお互いに助け合うこと。

「もしも…」のときに備えて、  
「いま」できることから。



「何かやりたい！しておきたい！」という思いをカタチにするために。。  
まずは「知る」ことから始めよう！



## 知っておきたい！彦根の「防災」マメ知識講座

「彦根では災害の心配は少ない」って本当？  
「もしも」のために、私たちが「いま」すべきことは？できることは？  
彦根における災害への備えや現状、課題を学ぶとともに  
市民活動団体やボランティア団体の「強み」を活かす活動を考えよう！

とき：**11月4日(日)**

定員40名

16:00~18:00

参加費 無料

ところ：**彦根東地区公民館**

(彦根市大東町1-26)

事前予約は  
センター事務局まで

講師：彦根市防災講習会講師（前消防長）  
**笠原 恒夫**（かさはら つねお）さん



## 募集情報



ひこね市民活動センターの運営を  
手伝っていただける方を募集しています

自分の得意なこと・好きなことを生かして  
市民活動・ボランティア団体さんのPRや  
交流事業などのお手伝いをしてみませんか？

- ヒコねば通信の発行・配布
- 市民活動センターの開館、管理
- イベントのお手伝い など



できることから、ちょっとずつ。

市民活動データベースへの  
登録をお願いします！

ひこね市民活動センターでは、  
“市民活動団体の応援”と  
“災害時に備えた日頃のネットワークづくり”  
を進めるため  
彦根近隣で活動している市民活動団体の  
データベースを作成し、  
HPなどで公開しています。

登録することで、団体の活動PRになります！  
くわしくは、センター事務局まで。



HIKONEクレイキャンペーン隊の馬場です。  
「みんなで彦根をクレイに!!」と毎月第二・  
第四日曜日の定例活動のほか、彦根市内  
でのイベント時に分別啓発の活動をしていま  
す。

また、FMひこねで彦根の元気を発信してい  
ます。(放送は火曜日の午前9時からと午後  
3時30分から)

「みんなで、彦根を元気に!!」が合言葉!!



発行・問い合わせ：ひこね市民活動センター  
TEL：0749-24-4461 FAX：0749-47-5402  
E-Mail：hikone.cac@gmail.com

この通信は、びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを使用しています。

## 『インディゴのつぶやきⅡ』

眞野丘秋著 2012年 日本文学館刊

文庫版 115ページ 本体価格500円＋税

ユニークな発想を持ち、物事の本質を見極める能力を  
持つインディゴチルドレンである著者が、ありのまま  
の自然体で、日々の想いをオートマティックに書き記  
したエッセイ集。

待望の第2弾、29編のエッセイを収録。

10月1日全国書店にて発売！

全国の書店、および Amazon などのネット書店にて  
ご購入いただけます。

店頭には置いていない場合は、書店にてお取り寄せ頂く  
か、日本文学館までお問い合わせください。

日本文学館 TEL:03-4560-8100 FAX:03-4560-8101